

木材加工をベースに機械加工の可能性を拡大し

新しい日本の
モノづくりを提案する

Machining JP CORE

新産業メディア
マシニングコア

2012年5月号

森林・林業・環境機械展示実演会
11月11日(日)～12日(月) 静岡県掛川市
小笠山総合運動公園内エコパグラウンド





DKSHジャパン スプリングフェア 関東地域で初開催

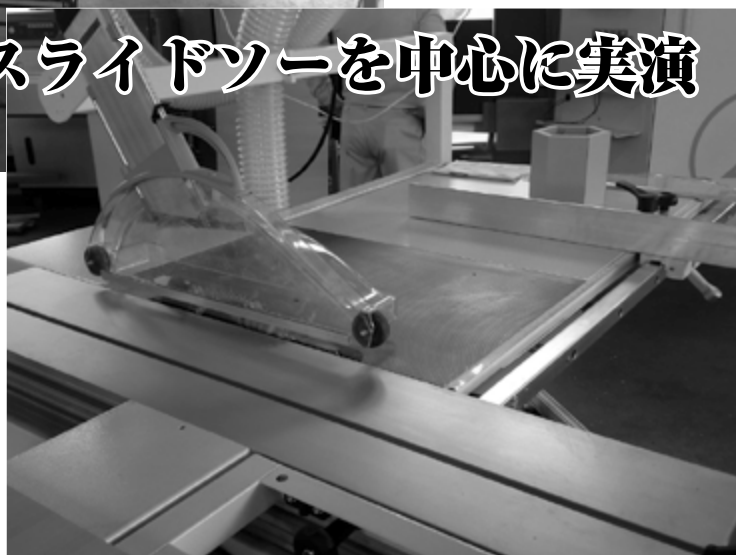
高コストパフォーマンスの スライドソーを中心に実演

2009年5月にドイツのミカエル・ヴァイニツヒ社（Michael Weinnig AG）の日本事業を買収、2010年10月にイタリアのSCMグループ（SCM Group S.p.A.）と日本総代理店契約を結ぶなどヨーロッパ発、有力木材加工技術ブランドの窓口として進化を続けるDKSHジャパン（株）（ベーター・ケメラー社長）は5月17日から19日までの3日間、関東ショールームでスプリングフェアを開催。東日本地域では初

開催となったプライベートショーには関東地方を中心に連日、木材加工ユーザー、木工機械ディーラーが訪

れ、最新技術の詳細を体感した。

ミカエル・ヴァイニツヒの日本事業を買収後、イタリアのパーデ社



sc 4 エリート



si 400 ノーヴァ



(Pade)、オーストリアのフィル社 (Fill)、S C Mグループなどヨーロッパの有力技術ブランドの取り扱いを拡大してきたDKSHジャパンだが、プライベートショー（個展）は木材加工部門の本拠・神戸での開催に限られていた。今回、関東ショー



ヴァイニッヒグループの無垢材加工機群

ルーム（埼玉県さいたま市緑区東浦和6-9-6）を拠点に東日本地域の木材加工ユーザー、ディーラーに幅

広い取り扱い技術の一端を紹介することで、世界水準の性能、精度、そして、コストパフォーマンスが広く

無垢材加工をリードする

ヴァイニッヒグループ

ヴァイニッヒグループ (Weinig Group) は無垢材加工分野で世界の技術をリードする企業グループ。中核のミカエル・ヴァイニッヒ社 (Michael Weing AG) は1905年に創業、1947年に木材加工機械の生産を開始し、1964年に生産をモルダーに特化、1970年には木材加工分野では初のモルダーアッセンブリラインを導入した。ヴァイニッヒブランドが日本市場に進出したのは1974年（日本ヴァイニッヒ(株)と提携）、1999年に日本市場での100%子会社ミカエル・ヴァイニッヒ・ジャパン(株)を神戸に設立、2009年5月にDKSHジャパン(株)がミカエル・ヴァイニッヒ社の日本事業を買収した。

グループ内には純正刃物メーカー

のヴァイニッヒ・スイス社 (Michael Weing S.A.、1980年設立)、高速モルダーメーカーのワコー社 (Waco Jonsereds AB、スウェーデン、1992年に買収)、自動クロスカットメーカーのディムター社 (GreCon Dimter Holzoptimierung Süd GmbH & Co. KG、ドイツ、1993年に買収)、フィンガージョイントラインメーカーのグレコン社 (ドイツ、1998年に60%、2005年に100%買収、ジョイントベンチャー企業としてグレコン・ディムター社 (GreCon Dimter Holzoptimierung Nord GmbH & Co. KG) を設立)、ギャングリッパーメーカーのライマン社 (Raimann Holzoptimierung

GmbH & Co. KG、ドイツ、2001年に買収)、ヴァイニッヒ・コンセプト社 (Weinig Concept GmbH & Co. KG、ドイツ、2001年設立)、スキャナーメーカーのルクスキャン社 (LuxScan Technologies S.à r.l.、ルクセンブルク、2007年に買収) があり、無垢材加工の全領域に及ぶ。北米 (1976年～)、英国 (1982年～)、アジア (シンガポール、1985年～)、オーストラリア (1995年～) をはじめとして世界各地に営業・サービス拠点をもち、中国では1997年にモルダーの生産拠点としてヴァイニッヒ・ヤンタイが始動、2009年にヴァイニッヒ (ヤンタイ) 社 (Weinig (Yantai) Woodworking Technology Co. Ltd.) が設立した。ヴァイニッヒグループ、2011年の売上高は3億5千万ユーロ。

→ www.dksh-weinig.jp